

～新型コロナウイルス 第4波の中で～

代表理事／小島美里

この春は3月半ばに開花し、花見を楽しむ間もなく早々と初夏の気候となりました。皆様いかがお過ごしですか。

昨年に続いてケアサポートえん恒例の花見は開催できませんでした。デイサービスや施設入居の方々は機会がありますが、訪問介護だけの利用者さんは通院ぐらいしか出かけられないという方もおられて、送迎付のお花見は心待ちにされる一大イベントです。帰り際には「冥途の土産ができたよ」と冗談も聞こえてきます。2年も続けて開けなかったのは初めてのこと。賑わいの消えた春は寂しいものです。新型コロナ、飛んでけ～！

4月13日、高齢者のワクチン接種開始と報道がありました。この日の接種者は全国で1139人、いつになったら全員にいきわたることやら。

さて介護職員の優先接種から外されていた在宅介護ですが、ようやく優先枠に入りました。けれども医療や施設職員と違い条件付きです。まず事業所が「利用者が感染して在宅療養や濃厚接触になった時もサービスを継続する」と誓約し、その事業所に所属している職員が「感染者のケアに行きます」と誓約して初めて優先接種になります。「利用者さんが感染して入院できなかつたら、ケアに行く」とケアサポートえんスタッフは流行が始まった頃から話し合っています。そしてこれまでも感染疑いの利用者さん宅へ防護衣着用でケアに行っています。そしてケアマネジャーや障がい者在宅介護は対象外です。にもかかわらず要介護高齢者の接種会場までの同行は在宅介護職員が担当、デイサービスや訪問介護を利用していない場合はケアマネが担うことになるでしょう。

まず条件を外すこと、障がい者支援従事者やケアマネジャーも優先対象にすることを国や市に訴えているのですが…。銀座で大人数の送別会してクラスタ一起こした介護保険担当課の皆さんにはわからないのでしょうか。介護職のまじめさ、優しさは。

PCR検査は、2月に新座市が実施した検査に多機能ホームまどかとグループホームえんが該当、その他の職員は法人負担で全員検査しました。今月からは日本財団の無償検査を定期的に受ける予定です。残念ながら障がい者支援は対象になりませんので、法人負担で実施します。介護従事者は利用者の感染源になることは極力避けねばなりません。またお正月も実家に帰れず、ずっと自粛を続けているスタッフたちに少しでも安心して介護を続けてもらいたいのです。この経費は皆さまからいただいた寄付をあてる予定です。心から御礼申し上げます。

ちなみに4月中旬現在まで暮らしネット・えん職員の感染はありません。最近では感染力が強い変異ウイルス流行中、ゆだんは禁物です。

